自治体職員の皆様へ

災害時に役立つ
自治体支援策のご紹介



国土交通省　関東地方整備局

災害が起こった際は

台風や豪雨、そして地震や津波など大規模自然災害が発生した場合、いち早く**TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）**が被災地へ出向き、被災した自治体を支援します。

- ✅TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、被災した自治体等の災害対応を支援する、国土交通省の組織です。
- ✅TEC-FORCEは、地震・豪雨等の異常な自然現象又は大規模な事故等による被害が発生した場合、自治体からの要請に基づき出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大防止、被災地の早期復旧、その他災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

自治体支援の流れ　～首長とのホットラインから始まるTEC-FORCE派遣～

自治体　　**国土交通省**（関東地方整備局）

災害発生

① ホットライン構築・リエゾン派遣
被災・支援要請の有無を確認

② 被災情報共有
被災状況を確認し、共有

情報のやり取り
（連絡体制の確保）

③ 支援要請
支援を要請

④ TEC-FORCE派遣
被災状況に応じ、
適切な人員を選定・派遣

支援要請・調整

⑤ 応急対策・応急復旧（技術支援）
▶ 活動内容の詳細は次ページ

被災状況調査、排水支援、道路啓開、技術的助言 など

⑥ 調査結果報告
調査内容を
自治体へ報告

成果の共有・
情報の受け渡し

⑦ 調査結果活用・本復旧
応急復旧から
本格復旧へ移行

ホットラインとは・・・
災害時の双方向の情報共有の仕組みです



① 災害の発生または発生のおそれがある場合、国土交通省の事務所から首長あてに**直接連絡**を行います。
これを**「ホットライン」**といいます。

② 被災状況や支援要請の有無を確認し、必要に応じてTEC-FORCE派遣やリエゾン派遣などの**支援につなげます。**
被災状況の確認 支援要請の確認 / TEC-FORCE 派遣 / リエゾン派遣などの支援

③ 事務所で把握が困難な事象（例：山火事、大規模火災等）が発生した場合は、**首長から事務所長へ一報をお願いします。**
山火事・大規模火災等 事務所で把握が困難な事象
自治体（首長）
国土交通省事務所（事務所長）

ホットラインは、災害時の迅速な情報共有と連携強化のための大切な仕組みです。
平時からの連絡体制の構築・更新にご協力をお願いします。

主なホットライン構築基準

1	**地震** 震度５弱以上
2	**津波** • 津波警報 • 大津波警報
3	**風水害** • レベル５ 氾濫発生情報 • レベル４ 危険警報 • 特別警報 • 緊急放流
4	**火山災害** • 噴火警報
5	**雪害** • 特別警報
6	**その他重大災害** • 人的被害発生 • 孤立集落発生 • ライフライン被害 • 社会的影響が大きい災害

自治体支援の主な活動内容

▶ ⑤応急対策・応急復旧（技術支援）の活動内容

リエゾン（現地情報連絡員）

被災自治体の被害状況や支援ニーズを把握し、地方整備局等との連絡調整を行います。


台風22号（八丈島（R7.11））


千葉豪雨（R8.8）

被災状況調査班（ヘリ調査）

災害対策用ヘリコプターにより、上空から大規模な土砂災害、広域の河川氾濫・内水氾濫等の被災状況を調査します。


災害対策用ヘリコプター「あおぞら号」



千葉豪雨（R8.8）

先遣班

先行的に派遣し、被災状況や必要とされる応援・支援の規模を把握し、派遣元の地方整備局等へ報告します。


千葉豪雨（R8.8）


熊本地震（R8.7）

応急対策班

ポンプ排水や道路啓開、応急復旧による緊急通行路の確保、被害拡大防止のための応急仮締切等の応急対策を実施します。


千葉豪雨（R8.8）

被災状況調査班（現地調査）

現地で被災状況を詳しく調査し、復旧に必要な情報を収集・報告します。




能登半島地震（R6.1）

高度技術指導班

高度な専門技術を活用し、応急復旧や復興方針を技術的に助言します。


千葉豪雨（R8.8）


能登半島地震（R6.1）

よくあるご質問

Q 国土交通省にTEC-FORCEやリエゾン派遣を要請した際に、要請した自治体に費用負担は発生するのか？

原則として自治体側の費用負担はありません。ただし、一部の活動は費用負担が発生します。

TEC-FORCEによる排水活動等の応急対策完了後、自治体で災害対策用機械を運用する場合、引き渡し後の運転に係る燃料、運転手の経費を自治体に負担していただく必要があります。

※不明な点については問い合わせ先までご連絡ください。

【参考】令和8年8月千葉豪雨における TEC-FORCE 活動実績

- 8月13日から千葉県を中心に**63自治体**とホットラインを構築。**千葉県及び11市4町**にリエゾンやTEC-FORCEを派遣。
- 応急対策班、被災状況調査班等に加え、昨年度のTEC-FORCEの体制強化により発足したTEC-FORCEパートナー・アドバイザー・予備隊員を派遣。（延べ844人・日（リエゾン含む））



【あおぞら号】ヘリからの被災状況調査


TEC-FORCEパートナー


被災状況調査（砂防班）


被災状況調査（道路班）


道路復旧支援


被災状況調査（河川班）


専門的・技術的助言
（TEC-FORCEアドバイザー）

TEC-FORCEによる支援事例

茂原市

現場の声

冠水対応が追いつかない

ホットライン

要請
8/15（14:40）

排水ポンプ車要請

TEC-FORCE支援
8/15（20:20）
排水ポンプ車・照明車 派遣


千葉市

現場の声

車両移動手段不足

リエゾン

要請
8/15（16:00）

車両移動ドーリー要請

TEC-FORCE支援
8/15（21:00）
車両移動用ドーリー手配


問い合わせ先

●ホットライン担当事務所
△△事務所××課
〒OOO-OOOO　OO県OO市OOO-O
TEL:（　　）　FAX:（　　）
●関東地方整備局の防災担当
統括防災グループ（防災室・災害対策マネジメント室）
〒330-9724　埼玉県さいたま市中央区新都心2-1　さいたま新都心合同庁舎2号館　15階
TEL:048-601-3151（代表）　FAX:048-600-1376

関東地方整備局HP
防災TOPページ

国土交通省 TEC-FORCE

2026年9月作成